



私だってみんなと一緒にいい

豊橋市立牟呂中学校一年 小林 咲貴

私には生まれつき脳性まひという病気があります。歩けないので車いすです生活をしています。小学校のときから地域の特別支援級に通っています。これは私の「みんなと一緒に勉強したい。」という気持ちを周りが理解してくれたから実現しました。そこにたどり着くまでには色々大変なことがあったみたいです。みんなと一緒に勉強をするのは楽しいです。色々な意見を聞いて新たな気付きが出来るからです。友達とのやり取りも楽しいし、面白くて笑ってしまうときもあります。でも、時々悲しい気持ちになるときもあります。

例えば、下校後に友達同士で外遊びをするときや、友達の家で遊ぶときに私だけ誘われない時があります。そういう約束をするときは私をチラチラ見ながらコソコソ話をしているので、私だけ仲間はずれにされていることに嫌でも気付いてしまいます。気付いているのに気付かないフリをしています。これ以上傷付きたくないし、みんなみたいに歩いたり走ったり出来ないから誘われないんだなと思っています。とても悲しい気持ちになるけどそれでも遊びたいときは勇気を出して「私の家に来て遊んで欲しいな。」と誘うときもあります。とても勇気があるけど、「じゃあ、咲貴ちゃんの家で決定ね。」と返事が来ると、今までの不安が一気に飛んでいき「よかった。」に変わります。

体育の授業でみんな疲れているときに

「咲貴ちゃんは歩かなくていいから楽でいいね。だって車いすだから。いいなあ。」

と言われて傷つくときもあります。車いすに乗っている人の気持ちが分からないのかな。車いすに長時間座っているのは身体のあちこちが痛くなるから辛いし、一番はお尻がとても痛くなります。そういう辛さを知らないのに、「車いす」という理由だけで私が楽をしていると決めつけられたくはありません。

いま振り返ってみると、友達が私の身体のことや何気ない言葉に傷付いていることを知らないという、私にしか分からない苦労が沢山あるからだと思います。

中学校に入学する前も両親が中学校の先生と何度も何度も話し合いをし、

両親や小学校の先生に付き添われ体験入学に行きました。その様子を見て、中学校の先生方が私を受け入れる準備をしてくれました。何度かあった体験入学はとても大変だったけど、みんなと同じ中学校に行きたい一心で頑張りました。周りの友達は何もしなくても中学校に入学出来るのに、なんで私だけなのかな。私なりに頑張っているのに、車いすっただけで差別をされるのはなぜだろう。歩けない私がみんなと同じ中学校に行きたいと思うのはいけないことなのかな。私を受け入れるために色んな準備が必要なことも分かるけど、歩けないことで友達とこんなに差があるのはショックでした。

私のように障害がある人の中には、障害があるというだけで勉強をする意味がないと言われた人・障害があるから地域の小学校への入学を断られた人が何人かいます。高校進学も選択肢がほぼないそうです。障害があるだけで常に下に見られている感じを受けるときがありますが、同じ人間です。障害があるだけで「勉強をする権利・選ぶ権利」を拒絶されるのはおかしいです。人は誰でも平等であり、誰にでも学ぶ権利があると思うからです。あなたがおかしいと思うこと、傷つくことは、障害があっても同じように感じる人が多いと思います。

障害があって出来ないこと・がまんをすることも沢山あります。でも、それが私です。歩けないのも、車いすに乗っていることも、全てが自分の個性だと思っています。だから私のことを知ってもらいたいし、自分を知ってもらうために勇気を出す必要があると思っています。知らないことが差別につながる時もあると経験したからです。

どうせ出来ないでしょ、どうせ〇〇でしょ。と、先入観を押しつけるみたいに決めつけられたくはありません。勝手な決めつけは時に相手を傷つけ、差別を生んでしまうからです。

私の友達には時々、私が傷付くことを言ったりする子もいるけど、「そういうことを言わないほうがいいよ。」と注意をしてくれる子もいます。その一言で「ごめんね。傷ついたよね。」と謝って、みんなで一緒になって解決する方法を考えてくれる、最高の友達だと思っています。

障害があってもなくても、誰もが平等な世界になるといいなと思っています。障害があるから何かを諦めないといけないのは悔しいです。みんなで助け合い平等な世界になれば、全ての子が同じ学校に通えるようになると思うからです。

いつかそういう日が来ることを願っています。